

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 40

製品プリントの人気投票を行いました…



思いつきラボのコラムがスタートしたのが 2013 年 10 月からなのですが 2015 年 3 月 30 日号までの 37 話をこのたび小冊子にまとめていただきました。思いつきラボというタイトル通り その時の話題や質問をテーマとして取り上げていましたのでシリーズ性のあるものが飛び飛びで掲載されるようになってしまいました。その意味では小冊子となったことで関連性のある原稿を選んで読んでもらうことができるようになりましたので 興味を持たれた方は当センターの担当者か本部 広報へお問合せください。



製品プリントの総選挙を行いました…

今回のテーマも 2015 年 1 月 30 日号で製品プリントの紹介記事を掲載しはじめたものの なかなか思うようにプリントが入手できず結局プリントからオリジナルで作成するという流れになってしまい時間があいてしまいました。と言いながらも作っているうちに あれもこれもとなってしまう 20 点以上のサンプルができてしまいました。サンプルが届いたときに回りにいた仕事場の仲間たちが“これがいい”やら“こちらの方がキレイ”とか…折角なので 人気投票をしましょうということになりました。



大阪事業所の 2 階の廊下にサンプルを展示して 気になったものや気に入ったものを 1 人 2 点選んでいただきました。来所されたお客様や業者の方まで廊下を通られた人に参加してもらいました。5 月の連休があったのですが 2 週間ほどの期間に 55 人の投票をいただきました。同時にこれだけの製品プリントを見ることもないので思いのほか盛り上がりを見ることができました。

プリントの解説の前に 結果発表をしますと 10 ポイント以上を得たサンプルが 4 点ありました。

投票結果

1 位 17 ポイント



箔(はく)プリント オーロラ箔

2 位 13 ポイント



ガラスビーズ プリント

3 位 12 ポイント



再帰反射プリント カラータイプ

4 位 10 ポイント



発泡+箔プリントゴールド シルバー

女性陣が多いので結果 “ヒカリ物”系のプリントが圧倒的な人気ということになりました。あまり市場に出回ってないものが人気という印象です。人気のあったプリントから説明していきます。

トップ4プリントの解説です

箔プリント

今回 箔プリントは ゴールド箔 シルバー箔 オーロラ箔と3点作ったのですが ゴールド箔が 4 ポイント シルバー箔が 2 ポイントとさらに 4 位に入った発泡+箔プリントが 10 ポイントなので 箔グループとしては 33 ポイントということになります。トータルポイント数が 110(55 人×2 ポイント)ですので 30%のポイントが集まったということになります。箔人気は高いです。

箔プリントは 箔のフィルムシートを使う転写プリントです。バインダー(接着剤)を引いて箔をのせてプレスで熱を加えて加工します。バインダーの部分だけが接着して糊のついていない部分の箔シートははがれますのでロゴだけがプリントできるということになります。



箔プリント ゴールド(右)・シルバー(左)

ガラスビーズプリント

本物のガラスビーズを接着するプリントです。繊維の生地にガラスが接着できるのかと思われるかもしれませんが 繊維にガラスを着けるのはかなり古くから行われている加工です。ラインストーンがくるぶしあたりアクセントでついているストッキングが大流行したのは 30 年くらい前の頃のはなしなのです。ただ今回のガラスビーズは球体のものを使って ラインストーンのような接着面がフラットなものとは違いますので加工は難しいですが仕上がりのキラキラ感が上品なものになります。

白色のバインダーを引いてその上にガラスビーズを撒(ま)きますと糊のついたところだけガラスが残ります。このあとベーキング(熱処理)して固着させるのですがビーズの大きさが一定でないと押しつけた時に接着ムラができてしまいますのでビーズの品質もきれいに仕上げるには大事な要因となります。色つきのバインダーを使えばカラーのガラスビーズプリントも作ることができます。

再帰反射プリント カラータイプ

再帰反射プリントのカラータイプに 12 ポイントも集まったのは意外だったというのが正直な感想です。再帰反射の色つきのものでも黄色やオレンジの反射材はよく光るのですが 反射材の中ではブルー系ものはなかなか輝度の高いものをつくれません。ブルー系で光る反射プリントは難しいのですがこのサンプルは高い反射輝度を持っています。防災・安全の立場でいえばあまり光らない反射素材となるのですがファッション性としての反射とすればオシャレなサンプルになったということなのです。

反射のプリント手順は 生地に接着させるバインダー層があってその上に光が逃げないように隠蔽層(いんぺいそう)を引きその上に色をのせて(今回のサンプルはブルー)その上に反射シートをのせてつくりますが 何層も重ねて各層がそれぞれの役割を果たすので再帰反射プリントがつくれるのです。今回は直接じかに生地に刷りこんだのではなく いちど転写紙に印刷したものを転写するという方法でつくりました。



高再帰反射 (右)・高再帰反射+蓄光 (左)
(今回は残念ながらランキング外でした)

発泡プリント+箔プリント

発泡プリントとはボリューム感のあるプリントでインクの中に発泡剤が混ざっていてプリント後に熱を加えて膨(ふく)らますという加工なのですが これに箔プリントをのせるというのはかなり難しい作業なのです。発泡させる温度と箔を接着させる温度が違うのと箔は伸縮性のないフィルムなので 先に箔を置いて膨らますと箔が割れてしまいます。発泡させてから箔をのせると今度は膨らんだ横の部分に箔がのらないということになります。ということでここは職人さんの腕によってできるプリント加工だということになります。

画像では判りにくいので本来は現物を見せながら説明するのがよいのですが言葉の説明でなんとかイメージしてみてください。サンプルは東京と大阪にありますので興味があってお越しいただける機会があれば現物をお見せすることができます。今回はアンケート調査で人気のあったプリントだけの紹介になりました。また次回にその他のプリントも紹介していきます。

さすがに繊維の検査に係わっていらっしゃるみなさまに見てもらったので特殊なプリントの物性の心配をしてくれました。筆者がとぼけた原稿ばかり書いているので物づくりの信頼性がないのかもしれませんが長いこと生産にたずさわってきたものとして言わせてもらいますが“誰が今回のプリントサンプルを作ったと思っているのですか・・・作ったのはプリント屋さんです。”ということで物性試験も大丈夫です。

原稿担当：竹中 直（チヨク）

